

みなさんこんにちは。前期が終了しました。10月に入り、肌寒くなりましたが気候の変化に体はついていってますか？この季節に体調を崩す人が増えますので、十分注意してください。

もちろん先生方も……………。

さて、昨年に続き今ニッポンが世界中から賞賛されていることがあります。为什么呢？そうですね。ノーベル賞の話です。

さて、そのノーベルを取った2人の名前を言えますか？一人でも言えたらすごいですけど……………。

じゃあ、言いますね。

ノーベル医学・生理学賞を受賞した大村智（おおむらさとし）さんです。

もう一人が、

ノーベル物理学賞を受賞した梶田隆章（かじたたかあき）さんです。

校長先生も、よく知らない先生ばかりで、分からなくても当たり前ですが、何が認められてノーベル賞を取ったか言える人はいますか？

大村さんはね、土の中にいる小さな小さな生物から、ある薬をつくったのです。その薬は、アフリカのある川の近くではやっていたある病気によく効くことが分かったそうです。その病気にかかると、苦しんで最後には失明する恐ろしい病気だそうです。

実は、その薬を述べ10億人の人に飲ませて、推計ですが〇万人くらいの人を失明から救ったそうですよ。また、毎年2億人の人を感染症から救っているというデータもあるそうですよ。

それだけではなかったのです。大村さんは、WHOと相談してその薬代はただにしたそうです。すごいですね。

アフリカの人たちは、大村さんにとっても感謝しているということです。

もう一人の受賞者、梶田さんは、これまで、素粒子というものの中の、「ニュートリノ」に質量、つまり「重さ」があることを世界で初めて突き止め、平成10年に開かれた国際学会で発表しました。

実は、世界の頭脳と呼ばれる人たちはすべて、「ニュートリノ」には重さはない。ということをもとに、研究を進めていたのです。ですから、梶田さんの発表を聞いた人たちは、大変驚いたそうですが、すんなり納得したそうです。

話が難しすぎて校長先生にもよく分からないことが多いのですが、とにかく、すごい発見だそうです。

校長先生は、この二人の共通点は何かということのを少し調べてみました。

- 1 いつも好奇心を持って、よく集め、よく調べていたようです。
- 2 天才ではなく、努力家だったそうです。
- 3 スポーツと勉強両方頑張っていたそうです。

校長先生は、だいたい2時間目か3時間目にみなさんの学習風景を見に教室を回っていますが、おっ！頑張ってるな！と思う人をたくさん見ることができます。でも、なんだか勉強する態度が残念な人もいます。

今日は前期の終業式です。また、すぐ後期が始まります。前期の残念だったところをしっかりと反省して、後期はまた気持ちを一新して、頑張っていきましょう。

せっかくですから、ノーベル賞を取ったお二人から学びましょう。